



世界遺産熊野古道館 (熊野市)

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉ gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL http://www.gijiroku.jp/mie/(スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



～三重県文化振興条例や補正予算などについて議論～

令和5年第2回三重県議会定例会 9月定例会・第1回緊急会議

文化の振興等に関する基本的施策等を定めた三重県文化振興条例案を審議・可決しました。

また、エネルギー・食料品等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対する支援、児童相談所等における安全対策の徹底や社会福祉施設等に対する指導監査体制の充実などを行うための補正予算などを審議・可決しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果、代表質問
- 2～3面 一般質問、用語解説、テレビ広報番組「三重県議会ハイライト」のお知らせ
- 4面 食料自給総合対策調査特別委員会で調査を進めています、議員勉強会を開催しました、三重県議会インターンシップ実習生からの提案を受けました、みえ県議会出前講座を実施しました、主な開催実績

審議結果

9月定例会月会議 (9月19日～10月20日)

可決した議案

条例

- 三重県文化振興条例案
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第二十三条の規定に基づく職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例案

ほか4件

その他議案

- 工事請負契約について

認定した企業会計決算

- 令和4年度三重県水道事業会計決算
- 令和4年度三重県工業用水道事業会計決算

採択した請願

- 自動車関係諸税などの見直しに関する意見書の提出を求めることについて
- 伊賀市阿波地区における産業廃棄物最終処分場の開発計画に対する慎重な審査を求めることについて
- 客引き等防止条例の制定を求めることについて
- 医療・介護報酬の臨時改定を行い医療・介護・福祉で働くすべてのケア労働者の処遇改善を求める意見書について
- 子どもの貧困対策の推進と就学・修学支援に関わる制度の拡充を求めることについて
- 教職員の欠員や不補充を速やかに解消する施策の実行および教職員定数改善計画の策定・実施と教育予算拡充を求めることについて
- 防災対策の充実を求めることについて
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求めることについて
- 県独自の学級編制基準および教職員配置基準のさらなる改善と教職員の欠員や不補充を解消し、確実な配置を求めることについて

不採択とした請願

- 健康保険証廃止の中止を求めることについて
- 25人下限条件をなくし、真の30人学級実現を求めることについて

可決した意見書案

- 子どもの貧困対策等を踏まえた就学及び修学支援に関する制度の拡充を求める意見書案
- 学校における防災対策の充実を求める意見書案
- 教職員の欠員等を速やかに解消する施策の実行並びに教職員定数改善計画の策定及び実施並びに教育予算の拡充を求める意見書案
- 義務教育費国庫負担制度の充実を求める意見書案
- 自動車関係諸税等の見直しを求める意見書案
- ケア労働者の処遇改善等を求める意見書案
- ブラッドパッチ療法における診療報酬について適切な措置を講ずることを求める意見書案
- ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書案
- 学校給食費の無償化を求める意見書案

否決した意見書案

- ALPS処理水の海洋放出を中止するとともに放射能汚染水を増やさない対策を講ずることを求める意見書案

第1回緊急会議 (10月24日)

可決した議案

- 令和5年度三重県一般会計補正予算(第3号)

その他議案

- 訴えの提起(和解を含む。)について

議員別の賛否等の状況 (PDFファイル)



9月採決分



10月採決分

代表質問

人口減少社会に向けた対応について

舟橋 裕幸 議員 (新政みえ / 津市選出)

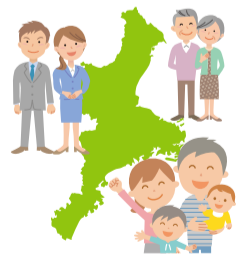


問

現在の社会は人口増を前にシステムが構築されており、これを人口減が前提の社会に変えるためには、産業構造はもとより、行政サービスや公共交通、社会保障や外国人との共生の在り方などを再構築する必要があると見ます。現在県が進めている自然減・社会減に対応するための人口減少対策をより充実させることも重要ですが、人口減に適応できる30年後の将来像を描き、県民に示す必要があるのではないのでしょうか。知事の所見を伺います。

答

将来像を明確に示すことは困難ですが、情緒的な将来像ではなくデータに基づいた対策を示すために「人口減少対策方針」を策定しました。今後は、毎年の計画を作って取り組むことでデータが蓄積し、一定の将来像が描けると考えています。人口減少社会に対応するための特効薬はなく、地道な取り組みが必要と見ます。県民の皆さんが幸福を感じて生き生きと生活できる三重県にするために、さまざまな主体と連携しながら人口減少対策を講じていきます。



その他の質問事項

- 三重での国体開催について
- 三重県立子ども心身発達医療センターについて



▲代表質問 (舟橋裕幸 議員)

新型コロナウイルスとインフルエンザ同時流行の対策について

田中 祐治 議員 (自由民主党 / 松阪市選出)



問

厚生労働省は、今冬は新型コロナウイルスとインフルエンザ同時流行の可能性があるとして発表しました。コロナ禍においては、医療現場のスタッフや病床等が不足し、自宅や宿泊施設で療養を余儀なくされるなどの問題が生じました。現在も新型コロナウイルスの感染の影響で通常医療が圧迫されている実態がある中で、今後の大規模な同時流行に備えるための医療体制は整っているのでしょうか。知事の認識を伺います。



答

5月8日に新型コロナウイルスの拡大に向けて取り組んだ結果、その数は大幅に増加しました。新型コロナウイルスの感染防止対策は同じであり、手洗いやマスクの着用等が重要です。今後、仮に感染者が増える局面に入った場合には、県民の皆さんに感染防止のための対応をお願いしたいと考えています。

その他の質問事項

- 農林業の振興について
- 教員不足の改善について



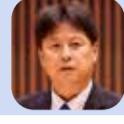
▲代表質問 (田中祐治 議員)

一般質問

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています

四日市萬古焼の現状と課題について

山崎 博 議員
(自由民主党)
四日市市選出



問 萬古焼の原材料であるペタライト鉱石は、電気自動車向けのリチウムイオン電池の原料となるなど、世界中で需要が高まり価格が高騰しています。陶磁器業界では、ペタライト鉱石に代わる新たな原材料の研究開発に取り組みますが、成分分析や検査試験の費用が重くのしかかっているようです。萬古焼陶磁器業界への支援について、県の考えをお聞かせください。

答 県は陶磁器業界とともにペタライト鉱石の使用量を低減させた試験用陶土を開発し、今後も早期の商品化に向けた技術支援に取り組みます。また、事業者による原材料確保のための取り組みへの支援を検討し、さらに、国には原材料の海外からの安定確保や産地支援の補助金の柔軟な運用などを要望してまいります。



萬古焼

その他の質問事項
○産業廃棄物不適正処理事業(大矢知・平津事案)に係る跡地利用について
○工業用LPGガスの価格高騰に対する支援について
ほかに



▲一般質問(山崎 博 議員)

関西本線の利用促進について

長田 隆尚 議員
(草莽)
亀山市選出



問 県はJR関西本線の潜在的な需要を把握するため、沿線地域とそれ以外の地域の間の移動の実態調査や、名古屋や奈良、大阪間の直通列車の需要の予測などのデータ分析を行う潜在需要調査事業を進めています。この事業の具体的な内容や、次のステップとなる潜在需要を掘り起こすための取り組みについて伺います。



JR東海 JR西日本 JR難波 加茂 亀山 名古屋

答 企業へのヒアリングや亀山市と伊賀市の全世帯を対象にした日常移動にかかる利用意向のアンケートなどを実施し、潜在需要を可能な限り「見える化」します。また、潜在需要を実際の利用につなげるためには、さまざまな課題の解決が必要であり、JR東海からの協力も得ながら、両市およびJR西日本と連携して取り組みの検討を進めます。

その他の質問事項
○リニア中央新幹線の早期全線開業に向けて
○生産性向上・業態転換支援補助金について
ほかに



▲一般質問(長田隆尚 議員)

学校以外の学びの場・居場所と不登校支援の充実

稲森 稔尚 議員
(草の根運動いが)
伊賀市選出



問 知事は9月にフリースクール「三重シユール」を初めて訪問していますが、現場の声を聴いたり子どもたちと触れ合ったりした中で、学校以外の学びの場・居場所の充実、特にフリースクールに対する財政支援や保護者に対する経済的な支援の必要性について、どのような認識を持ったのでしょうか。今後の取り組みを含めて知事の考えを伺います。

答 学校や家庭以外の子どもの居場所はとても大事だと思います。引きこもりは不登校から始まることもあり、不登校の支援としてフリースクールは皆ともいえる重要な役割を持っていて、これを活用し、国に支援の在り方を提案するとともに、財政支援の可能性を含めて、県として何ができるかを検討します。



知事の視察の様子

その他の質問事項
○不登校経験者に懸念もある「内申書」(調査書)は速やかに見直すべきではないか
○時代錯誤とならない三巡目の国民スポーツ大会(国体)のあり方について
ほかに



▲一般質問(稲森稔尚 議員)

①大矢知・平津事案にかかわる跡地利用の協議の進め方について

芳野 正英 議員
(新政みえ)
四日市市選出



問 大矢知・平津事案については、平成23年に地元2つの連合自治会、県、四日市市の四者で協定を結び、当該事案に係る跡地活用方法について十分に協議することとしています。対策工事が終わった今、地元自治会だけでなく土地の所有者等の関係者を含めた協議を早急に始めるべきだと思えます。県の考えをお聞かせください。



大矢知・平津事案 行政代執行後の全景

答 本事案については、識経験者、県、四日市市で構成する「四者協議」の場で協議を重ねてきました。跡地利用については土地所有者等のさまざまな課題があり、協議を進めたいと考えています。今年度から跡地利用に関する課題の共有や意見交換の時間を設け、しっかりと議論できるように、調整を進めます。

その他の質問事項
○次期国民スポーツ大会の開催について
○グレイゾー支援について
ほかに



▲一般質問(芳野正英 議員)

津駅前空間のビジョンや再編の現状と今後の進め方について

龍神 啓介 議員
(自由民主党)
津市選出



問 現在の津駅ができてから約半世紀が経過しています。令和2年に津駅周辺道路空間および道路整備の再編の検討が始まってから、さまざまな検討会や委員会が整備方針や方向性が策定されましたが、具体的なことが決まっています。整備の具体的なスケジュールやビジョンと、どこが主導して事業を進めるかについてお聞かせください。

答 津駅周辺のまちづくりは、国・県・市の三者で連携し、調査や社会実験を進めています。引き続き、社会実験の検証結果等を踏まえて「歩行空間の拡張」などの具体的な整備計画を含め、検討委員会で議論を重ねます。



津駅東口のにぎわい創出の社会実験

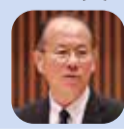
その他の質問事項
○行政手続等デジタル化の現状は
○支援する「スタートアップ」の範囲は
ほかに



▲一般質問(龍神啓介 議員)

県有施設駐車場のバリアフリー化と今後のユニバーサルデザインの進め方について

中瀬 信之 議員
(新政みえ)
度会郡選出



問 県は、バリアフリー化やユニバーサルデザインを率先して進める立場にあります。道の、県有施設の車いす使用者用駐車場およびおもいやり駐車場の整備については、そのすべてに雨天時に利用者が対応できる屋根を付ける必要があると思えます。県有施設における屋根付きの駐車場の整備状況を、ユニバーサルデザインを推進するための県の役割をお聞かせください。



県庁庁舎の車いす使用者用駐車場

答 県有施設のうち、車いす使用者用駐車場の割合は約35%に留まっており、特に不特定多数の方が利用する施設については、設置を進める必要があると考えています。県有施設のみならず社会全体で、だれもが利用しやすい施設整備が進むよう、周知啓発に取り組み、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進してまいります。

その他の質問事項
○G7三重・伊勢志摩交通大臣会合が三重県に与える影響について
○当県での国体・全国障害者スポーツ大会の開催について
ほかに



▲一般質問(中瀬信之 議員)

三瀬谷ダムの事前放流について

村林 聡 議員
(自由民主党)
度会郡選出



問 今年8月の台風第7号により、度会町では大きな被害が発生しました。三瀬谷ダムでは台風ピークの直前に事前放流が実施されましたが、ダムの水位の変化はわずかなものだったようです。知事は台風被害の現地視察の際に、三瀬谷ダムの事前放流の在り方について検討する旨の発言をされましたが、現在の検討状況をお聞かせください。

答 県と国および中部電力の三者で治水協定を結んでおり、その協定に基づいて今回も事前放流が実施されました。今後、事前放流により確保できる貯水可能容量の増加などに向けて調整を進める予定です。なお、ダムの貯留機能には限界がありますので、耕地における貯留なども含めて議論し、浸水被害の減少に向けて取り組みます。



三瀬谷ダム

その他の質問事項
○人口減少対策方針と南伊勢町水産業後継者等育成事業について
○道路の草刈り年2回の拡充と張り出した樹木の対策について
ほかに




▲一般質問(村林 聡 議員)

文中の傍線部分については、3ページに用語解説を掲載しています

性暴力根絶を！誰もが安心して暮らせる三重県づくりに向けて

小島 智子 議員
(新政みえ)
桑名市・桑名郡選出



問 子どもを性被害や犯罪から守ることを目的とした条例が複数の府県で策定されています。すべての県民が性暴力、性犯罪の不安に怯えることなく、安全に安心して暮らせる、特に子どもたちが安心して育つ環境づくりのために、条例制定をめざしてほしいと強く望みます。被害からの回復支援もしっかりと進めるべきです。知事の考えをお聞かせください。



答 性暴力は、人の道を踏み外した非道な犯罪であり、被害者の身体だけでなく心も傷つける魂の殺人です。そういった行為にしっかりと対応するために、国の動きを注視し、他県の条例を学び、さまざまな情報を集めながら、条例制定に向けて動いていきたいと考えています。

その他の質問事項

- 三重県で共に生きる人
- 減少対策と外国人住民
- 自動車関連
- 産業の転換
- 支援を！


ほか



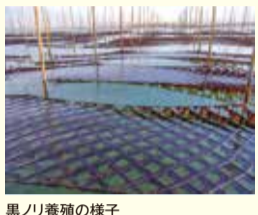
▲一般質問 (小島智子 議員)

黒ノリの色落ち対策について

西場 信行 議員
(自由民主党)
多気郡選出



問 令和5年の黒ノリの漁期がこれから本格的に始まります。県は色落ち対策として、短期的には栄養塩類を漁場等に直接供給する「施肥」に取り組んでおり、中長期的には流域下水処理場の栄養塩類管理運営に取り組んでいます。栄養塩類管理運営は今後の黒ノリ養殖の振興に欠かせない取り組みだと思いますが、その効果検証の進め方について、県の考えをお聞かせください。



黒ノリ養殖の様子

答 県内にある流域下水処理場のうち2箇所の周辺海域において、栄養塩類の濃度などのデータを収集しています。このデータをもとに、令和6年度から8年度にかけて、黒ノリへの影響をシミュレーション解析により推定し、今後の管理運営の在り方を検討する予定です。引き続き、あらゆる対策を通じて、黒ノリの生産の安定化を図ります。

その他の質問事項

- 東又谷治山
- 対策について

ほか



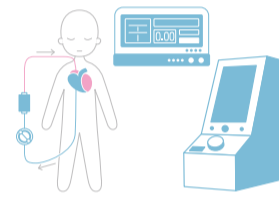
▲一般質問 (西場信行 議員)

新型コロナウイルス感染症の被害について

廣 耕太郎 議員
(新政みえ)
伊勢市・鳥羽市選出



問 新型コロナウイルスが呼吸困難になったときに、ECMO（エクモ）と呼ばれる体外式膜型人工肺を使うと約7割の方が助かるというデータがあります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大から千日以上がたつ中、県内に5台あるECMOの、これまでの使用実績を伺います。また、使用実績が少ないのであればその理由をお聞かせください。



答 県内のECMOによる治療実績は計5例です。ECMOによる治療は合併症を生じる可能性が高く、一般的に高齢者などは適用外とされています。死亡者数が大幅に増加したオミクロン株流行後の県の死亡者数は、90%以上が高齢者であり、ECMOの使用に至らなかったことが使用実績が少ない原因だと考えています。

その他の質問事項

- 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種について
- 超過死亡について

ほか



▲一般質問 (廣耕太郎 議員)

県民一人ひとりのwell-beingについて

松浦 慶子 議員
(自由民主党)
多気郡選出



問 「well-being」という概念が、政策形成の指標として日本でも活用されています。体が健康で自分が得意なことができ、それが人の役に立ち自分の役割となり、生きがいにつながるさらに元気になるといった、循環型の幸福を生活の一部に取り入れることができれば、生活の満足度が持続するのではないかと考えます。well-beingに対する知事の見解をお聞かせください。



答 昨年度に策定した「強じんな美し国ビジョンみえ」では「将来世代も含め、県民の皆さんが未来に希望を持ち、幸福を感じながら、元気に、かつ安全・安心に暮らすことができない地域」をめぐらすこととしており、これはwell-beingの概念と共通するものだと考えています。今後、この概念を軸に、県政を展開していきたいと考えています。

その他の質問事項

- 円卓対話の取組と、熊野古道伊勢路の世界遺産追加登録について
- 「生命の安全教育」について

ほか



▲一般質問 (松浦慶子 議員)

依然としてなくならない特殊詐欺被害への対策について

日沖 正信 議員
(新政みえ)
いなべ市・員弁郡選出



問 令和5年8月末現在の特殊詐欺の認知件数・被害額は、昨年の同期を大きく上回っています。被害者の7割を高齢者が占めていますが、発生件数が増加している架空料金請求詐欺については年齢を問わず被害が増えています。県はこの特殊詐欺の被害増加の原因をどのように捉えているのでしょうか。今後の対策と併せてお聞かせください。



答 犯人グループが悪事の練度を上げていくのに対し、まだまだ多くの県民に「自分は被害に遭わない」という思い込みがあることなどが増加要因と考えられます。今後、防犯機能付き電話機の普及促進や発信力の高い広報啓発活動などにより、県民が犯人グループからの電話を受けない、かつ県民の警戒心・抵抗力を向上させる広報啓発を強化して被害防止に取り組みます。

その他の質問事項

- 人口減少問題における東京一極集中是正への考え方について
- みえ子ども・子育て応援総合補助金について

ほか



▲一般質問 (日沖正信 議員)

用語解説

1 大矢知・平津事案

四日市市大矢知町および平津町地内の産業廃棄物最終処分場で、平成6年度までに許可面積・容量を大幅に超える処分および許可品目以外の廃棄物の処分が行われました。処分場の設置者に対し、2度にわたって改善命令を行いました。改善は実施されず、同年10月に許可期限切れとなった事案です。



用語解説

2 well-being

世界保健機構（WHO）憲章の前文の「健康」の定義において「肉体的にも精神的にも、そして社会的にも満たされた状態にあること」を示す概念とされています。

三重県議会の本会議等で用いられる議会運営用語の解説については、県議会ホームページの「用語解説」からご覧いただけます。



用語解説

テレビ広報番組「三重県議会ハイライト」のお知らせ

各常任委員会等の県内調査や委員会審議の様子、委員長インタビューなどをまとめたテレビ広報番組「三重県議会ハイライト」委員会活動等の紹介を三重テレビで放送します。ぜひご覧ください。

- 放送日時**
- ①令和6年1月17日（水）
午後7時～午後7時30分
 - ②令和6年1月18日（木）
午後7時～午後7時30分
 - ③令和6年1月20日（土）
午後6時30分～午後7時
- 総務地域連携交通常任委員会、政策企画雇用経済観光常任委員会、環境生活農林水産常任委員会の活動等の紹介
- 医療保健子ども福祉病院常任委員会、防災県土整備企業常任委員会、教育警察常任委員会の活動等の紹介
- ③令和6年1月20日（土）
午後6時30分～午後7時
予算決算常任委員会、食料自給総合対策調査特別委員会の活動等の紹介や、県議会における広聴広報活動の取り組みの紹介等



議員勉強会を開催しました

10月4日、横浜商科大学の羽田耕治名誉教授を講師にお招きし、令和5年度第1回議員勉強会を開催しました。

三重県では、「みえ元気プランで進める7つの挑戦」の1つに、「三重の魅力を生かした観光振興」を掲げ、取り組みを進めています。また、今年度は次期三重県観光振興基本計画の策定を進めていることから、「三重の魅力を生かした、これからの観光振興」と題して、お話いただきました。

勉強会では、観光用語やこれからの地域観光政策を考えるうえで押さえるべきポイントについて解説いただくとともに、三重のこういった魅力を誰にどう訴求していくかなど、具体的なお提案をいただき、今後の三重県における観光振興の在り方について考える機会となりました。



議員勉強会の様子

食料自給総合対策調査特別委員会で調査を進めています

日本の食料自給率はカロリーベースで38%と先進国の中で最低水準です。また、世界では不安定な国際情勢に加え人口増大、温暖化に伴う異常気象の頻発等、食料需給を巡るリスクが高まっています。これらの状況を踏まえ、これからの食料の安定供給について調査・議論を行っています。

参考人招致【6月28日】【7月10日】

食料自給力の現状、課題、今後取り組むべき方向性について意見交換を行いました。

団体

- 三重県漁業協同組合連合会
- 東海農政局
- 三重県農業協同組合中央会

個人

- 鈴木宣弘氏（一般財団法人食料安全保障推進財団理事長、東京大学大学院農学生命科学研究科教授）



執行部聴取【8月7日】

県の「食」に関する取り組みを幅広く聴取しました。

■農林水産部

農業、水産業の各条例における食料安定供給の位置づけと関連する取り組み

■環境生活部

食品ロス削減への取り組みおよび豊かな海づくりの取り組み

■雇用経済部

食関連産業の振興に関する取り組み

■観光部

ガストロノミーリズムに関する取り組み

■教育委員会事務局

学校給食を通じた食育の推進、学校給食における地産地消の取り組み、県立高校における農業教育



県内調査【9月21日】

地産地消を幅広く進めている優良事例や実際の農家の方の経営実態について、現場視察を交えて、意見交換を行いました。

■多気町

有機農業の推進・地産地消の取り組み

■伊勢農業協同組合

農家が抱える課題等

みえ県議会出前講座を実施しました

県議会を身近に感じてもらうことを目的に、議員が学校に出向いて授業を行う「みえ県議会出前講座」を実施しています。

10月19日に実施した学校法人津田学園の津田学園小学校での様子をお伝えします。

広聴広報会議の委員が2名で学校を訪問し、県議会の仕組みや議員の仕事などを動画やスライド資料を使用しながら授業をしたあと、みなさんからのたくさんの質問に答えました。



出前講座の様子

<児童からの質問>

「会議を開ける日が増えてきた（通年議会）のはなぜですか？」
「期日前投票ってなにですか？」
「採決の時に同じ数だったらどうするのですか？」
など



みえ県議会出前講座

随時募集

出前講座は、学校からの申し込みを受けて実施しています。詳しくは県議会ホームページをご覧ください。

三重県議会インターンシップ実習生からの提案を受けました

県議会では、議会における監視機能の強化や政策立案の充実、地方分権の推進に資する人材の育成などを目的として、インターンシップ実習生を受け入れています。20人目となる今年は、京都大学大学院の学生を実習生として受け入れました。

実習内容

・議員との意見交換 ・本会議や常任委員会等の傍聴 等

報告会

実習終盤、議員を前に「県議会の政策立案能力の強化を目指して」というテーマで県議会に対して提案をしていただきました。発表では、政策立案機能の強化として政策提案制度の推進や大学との連携を提案いただくとともに、政策を伝えるための手段として議事録の要約の公開や主催者教育を提案いただき、議員との間で活発な質疑応答が行われました。



報告会の様子

主な開催実績

19日	9月	本会議 議案11件上程、認定議案5件上程
22日	本会議 議案に関する質疑（1人）、 総務地域連携交通常任委員会 議案の審査	
26日	本会議 環境生活農林水産常任委員会 議案の審査	
28日	本会議 一般質問（5人）、議案2件可決 一般質問（4人）	
2日	10月	本会議 一般質問（4人）
3日	本会議 予算決算常任委員会 議案の審査	
5日、6日、10日、11日	各常任委員会・分科会 議案の審査、所管事項の調査 他	
16日	本会議 代表質問（2人） 予算決算常任委員会 議案の審査、決算認定議案の審査	
20日	本会議 議案10件可決、認定議案5件認定、 請願9件採択、2件不採択、意見書 案10件上程・9件可決・1件否決、 議案2件上程、認定議案12件上程 予算決算常任委員会 議案の審査	
23日	本会議 総務地域連携交通常任委員会・分科会 議案の審査 予算決算常任委員会5分科会 議案の審査、所管事項の調査	
24日	本会議 令和6年度当初予算編成に向けての 基本的な考え方、議案の審査 議案2件可決 予算決算常任委員会 令和6年度当初予算編成に向けての 基本的な考え方	

※この他にも、さまざまな会議を開催しました。